



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年1月28日

上場会社名 株式会社 関西スーパーマーケット 上場取引所 東
 コード番号 9919 URL <http://www.kansaisuper.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 耕治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 中西 淳 TEL 072-772-0341
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	99,316	4.6	2,677	88.1	2,957	75.3	1,973	74.4
2020年3月期第3四半期	94,921	1.0	1,423	△3.0	1,687	△3.2	1,131	1.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,135百万円 (105.0%) 2020年3月期第3四半期1,041百万円 (18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	64.83	—
2020年3月期第3四半期	36.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	60,205	34,992	58.1
2020年3月期	54,882	33,344	60.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 34,992百万円 2020年3月期 33,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年3月期	—	8.00	—		
2021年3月期（予想）				10.00	18.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2021年3月期期末配当金の内訳

普通配当 8円00銭 特別配当 2円00銭

3. 配当予想の修正については、本日（2021年1月28日）公表いたしました「配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,430	2.6	2,810	24.6	3,120	20.8	1,990	18.3	65.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	31,940,954株	2020年3月期	31,940,954株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,497,827株	2020年3月期	1,497,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	30,443,164株	2020年3月期3Q	31,443,603株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、収束への道筋が未だ見通せない中、依然厳しい状況にあります。

小売業界におきましては、同感染症の影響により、衣料及び耐久消費財などの需要激減、内食需要の拡大など消費に大きな変化が生じました。今後も、同感染症拡大が警戒される中、企業収益の悪化や個人所得の落ち込みから、消費者の節約志向は一段と強まることが見込まれます。これにより、ECやドラッグストアをはじめとする業種・業態を超えた競争は更に厳しさを増すことが予想されます。

このような環境下において当社グループでは、お客様と従業員の安全・安心を確保することを最優先に、同感染症拡大抑制策を実施してまいりました。お客様が安心してお買物ができる環境づくりとしてアルコール自動手指消毒器の増設、ソーシャルディスタンス確保のためのフロアサイン表示、従業員が安心して仕事ができる職場環境づくりとしてマスク着用の義務付け、レジガードの設置、チェッカー係の手袋着用、諸会議や商談・研修会・採用活動等におけるWeb活用などを進めております。11月にオープンした富田林駅前店では、抗菌店内カゴと抗菌グリップ・フック付のアルミカート、及び抗菌・抗ウイルス加工を施したレジカウンターやサッカー台を導入いたしました。販促施策としては、休止しておりました折込みチラシを週1回に集約して再開することでお客様の買物スケジュールにお役立ていただくとともに、店内混雑緩和のために10%引セールを週2回実施しております。さらに、エッセンシャルワーカーとして活躍する従業員への感謝と健康を願い、7月と8月の2回、感謝特別支給金を支給、12月には当社会社を含む全従業員約6,000人へ5回目となる私用マスクの無償配布を決定いたしました。

このような状況の中、当社グループは最終年度となる3ヵ年中期経営計画において、「健康経営」「生産性向上」「教育」を3つの柱に掲げ、「営業方針」「人材方針」「経営管理方針」「成長戦略」「コンプライアンス強化」「全社課題解決施策」を基本方針とし、お客様と従業員の「負」の解消を図るため、お客様・従業員・地域とともに環境問題への取り組みや社会貢献を通じて問題解決を行う「トータルソリューション型スーパーマーケット」の実現に取り組んでおります。

「健康経営」では、健康増進法改正に伴う受動喫煙防止の啓発や、「大腸がん」の早期発見を目的とした便潜血検査を希望する従業員に対して実施いたしました。また、従業員に長く元気に働いていただくため、雇用制度を変更し、パート従業員の継続雇用を最長75歳まで延長いたしました。さらに、殺菌・除菌・消臭効果のある炭酸次亜水生成装置を導入している3店舗において、バックヤードや売場、及び全レジに炭酸次亜水噴霧器を設置、その他店舗においても超音波加湿器を設置することで、空気の乾燥を防ぐなど従業員の職場環境にも留意しております。

「生産性向上」では、「フィールドワークによる作業効率向上」「ハードの導入による作業合理化」「システム投入による作業種類数の削減」そして「神戸赤松台センター稼働による店舗作業削減」に取り組んでおります。ハードの導入では、AI機能付「フライヤーリフター」の導入店舗を34店舗へ拡大いたしました。また、神戸赤松台センターによる惣菜の新規商品開発や、(株)阪急フードプロセスからの国内産若鶏ノントレー商品の取扱いを28店舗へ拡大するなど、魅力ある商品をお客様へ提供するとともに店舗作業の削減に寄与しております。

「教育」では、新入社員の知識修得と不安解消並びに職場への定着化を目的とした「新入社員教育プログラム」を実施いたしました。また、お客様への情報提供をはじめ接客力向上を図るために、青果担当社員を対象とした「ベジタブル&フルーツアドバイザー」の資格を54名が取得いたしました。さらに、ご高齢者やお身体が不自由な方の介助及びお買物のサポートを目的に、サービス介助士の資格を233名が既に取得するほか、惣菜を含む食品の開発・製造・加工に関する知識を習得した惣菜管理士2級及び3級の資格を取得した31名が、安全・安心な食品をお客様に提供することを目的に取り組んでおります。

店舗の新設及び改装では、65店舗目となる富田林駅前店（大阪府富田林市）を11月にグランドオープンし、店舗改装は、4月にセルバ店（神戸市東灘区）、8月に駅前店（兵庫県伊丹市）、9月にフェスタ立花店（兵庫県尼崎市）をリニューアルオープンいたしました。また、6月よりお客様のさらなる利便性向上とSNSを活用した新規顧客獲得を目指して、全店で「LINEクーポン」を使用できるよういたしました。

環境・社会貢献活動では、新型コロナウイルス感染拡大抑制支援として、兵庫県伊丹市に対し4月には医療用防護マスクを寄附、10月には感染症対策に関わる事業にお役立ていただくため1,000万円の寄附を実施いたしました。11月には大阪府富田林市と、災害時における物資の供給協力に関する協定を締結しております。また、レジ袋有料化については、7月1日より全店でバイオマス原料配合の環境に配慮したレジ袋を採用し、5店舗を除く60店舗でレジ袋有料化を実施いたしております。地域との連携では、日常のお買物にご不便をされているご高齢者、お身体の不自由な方などに商品をお届けする、移動スーパー「とくし丸」を4店舗で運行開始し、運行車両は合計16台となりました。また、5店舗で展開するネットスーパーでは、コロナ禍において非接触のニーズや外出を控えるなど消費者行動の変化により、売上が伸長しております。

以上の結果、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績におきましては、新型コロナウイルス感染拡大抑制と内食需要の高まりなどお客様の買物行動の変化に対応することで、営業収益は993億16百万円（前年同期比4.6%増）となりました。営業経費は、お客様、従業員への同感染拡大抑制策を講じるための備品の購入や、地域のライフラインを支えるため懸命に業務に精励した従業員に感謝し、アルバイトを含む全従業員へ「感謝特別支給金」を支給及び成長へ向けた店舗の新設や改装などにより増加しました。しかしながら、売上総利益の増加が営業経費の増加を上回ったため、営業利益は26億77百万円（前年同期比88.1%増）、経常利益は29億57百万円（前年同期比75.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億73百万円（前年同期比74.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は185億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億6百万円増加いたしました。これは主に、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であった影響等により現金及び預金が44億74百万円増加したことによるものであります。固定資産は416億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億15百万円増加いたしました。これは主に、店舗の新設や既存店舗の取得、改装等により建物及び構築物が5億79百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は602億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億22百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は199億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億38百万円増加いたしました。これは主に、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であった影響等により買掛金が50億26百万円増加したことによるものであります。固定負債は52億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億63百万円減少いたしました。これは主に、債務の返済等により長期借入金が6億94百万円、固定負債のその他に含まれるリース債務が2億73百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は252億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億74百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は349億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億48百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が14億85百万円、その他有価証券評価差額金が1億61百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年10月30日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症が経済活動に与える影響を合理的に見通すことは依然困難であり、今後の景気・個人消費動向を注視し、業績予想の見直しが必要になった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,939,118	12,413,667
売掛金	1,861,073	2,200,754
商品	2,549,376	2,755,737
貯蔵品	59,870	60,733
その他	1,565,562	1,150,963
流動資産合計	13,975,000	18,581,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,181,584	9,761,175
土地	20,885,024	21,072,924
その他(純額)	2,287,312	2,550,650
有形固定資産合計	32,353,921	33,384,751
無形固定資産		
	431,082	426,238
投資その他の資産		
差入保証金	4,546,617	4,383,263
退職給付に係る資産	861,737	880,986
その他	2,714,174	2,548,228
投資その他の資産合計	8,122,529	7,812,479
固定資産合計	40,907,533	41,623,469
資産合計	54,882,533	60,205,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,013,288	13,039,912
1年内返済予定の長期借入金	1,332,000	1,190,000
未払法人税等	655,030	319,003
賞与引当金	951,549	443,759
店舗閉鎖損失引当金	-	1,360
その他	4,325,644	4,921,530
流動負債合計	15,277,512	19,915,565
固定負債		
長期借入金	2,358,000	1,664,000
退職給付に係る負債	852,269	875,956
資産除去債務	491,592	516,621
その他	2,558,480	2,240,473
固定負債合計	6,260,341	5,297,052
負債合計	21,537,854	25,212,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,862,933	9,862,933
資本剰余金	10,906,837	10,906,837
利益剰余金	14,034,076	15,520,014
自己株式	△1,329,217	△1,329,320
株主資本合計	33,474,630	34,960,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,011	208,793
退職給付に係る調整累計額	△176,961	△176,551
その他の包括利益累計額合計	△129,950	32,242
純資産合計	33,344,679	34,992,707
負債純資産合計	54,882,533	60,205,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	93,434,268	97,842,062
売上原価	71,236,523	73,987,844
売上総利益	22,197,744	23,854,218
営業収入	1,487,446	1,474,881
営業総利益	23,685,190	25,329,100
販売費及び一般管理費	22,261,668	22,651,471
営業利益	1,423,522	2,677,628
営業外収益		
受取利息	4,763	4,823
受取配当金	23,095	21,536
持分法による投資利益	87	6,723
受取手数料	136,735	142,523
リサイクル材売却益	72,742	32,483
その他	68,695	104,165
営業外収益合計	306,119	312,256
営業外費用		
支払利息	25,397	16,823
株式管理費	9,909	10,207
その他	7,120	5,054
営業外費用合計	42,427	32,086
経常利益	1,687,215	2,957,798
特別利益		
投資有価証券売却益	52,297	4,822
受取保険金	9,451	—
特別利益合計	61,748	4,822
特別損失		
固定資産除売却損	12,736	16,084
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	1,360
投資有価証券売却損	51,671	—
災害による損失	6,676	—
特別損失合計	71,083	17,444
税金等調整前四半期純利益	1,677,879	2,945,176
法人税、住民税及び事業税	285,532	678,945
法人税等調整額	260,440	292,646
法人税等合計	545,972	971,591
四半期純利益	1,131,907	1,973,585
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,131,907	1,973,585

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,131,907	1,973,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,537	167,365
退職給付に係る調整額	△45,628	410
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,102	△5,583
その他の包括利益合計	△90,268	162,192
四半期包括利益	1,041,638	2,135,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,041,638	2,135,778
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。